

名古屋市会議員 昭和区選出

大村光子

元気・GENKI・ゲンキ通信 号外

昭和区選出の名古屋市会議員として、取り組んできた活動のご報告をさせていただきます。これからも、皆さまのお役に立てるよう、実直に活動を重ねてまいります。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

大村光子プロフィール

昭和36年4月23日生まれ。愛知県岡崎市出身。ソニー幸田(株)を経て、リクルートグループでは23年間、企業経営の根幹でもある「人材採用&育成」に携わる。平成23年3月名古屋市会議員に初当選。「イキイキと働く社会、人を元気に！笑顔に！する」を信条に活動中。

- 好きな食べ物：肉
- 信条：WAKU WAKU!! 元気！諦めない！
- 大切にしていること：「有難う」と言える出会いと「有難う」の感謝の心
- 趣味：マラソン(自己ベスト：フルマラソン(初)4時間5分17秒)
  ソフトテニス(中学・高校)

実現

令和8年8月19日、御器所駅2番出入口のエレベーター設置が実現しました!!

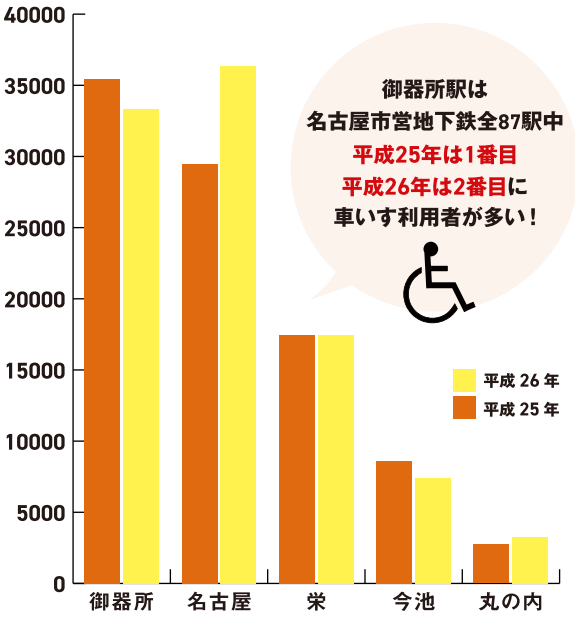
平成24年、御器所駅8番出口・2番出口から周辺施設まで、車いすで移動する際の所要時間や移動環境について独自に調査を行いました。その結果、「シルバー人材センター」「昭和生涯学習センター」「名古屋ライトハウス」「AJU自立の家」など、障がい者の皆様や高齢者の皆様の利用が多い施設が御器所駅周辺に集まっていることが分かりました。また、地下鉄の車いす利用状況を調査したところ、御器所駅は平成25年度に名古屋市営地下鉄全87駅の中で最も利用者数が多く(35,449人)、平成26年度も名古屋駅に次ぐ2番目(33,347人)でした。

こうした実態を背景に、平成25年の「地下鉄御器所駅2番出入口にエレベーターを設置することを求める請願」が提出されました。平成27年の土木交通委員会では、車いす利用者数や周辺福祉施設の状況を示し、御器所駅の優先的な整備を強く訴えました。

当時、交通局は改札内乗換ができない4駅(名古屋駅・丸の内駅・栄駅・今池駅)の整備を優先していましたが、私は利用者数や福祉施設の状況も重要な判断基準とすべきと主張。議会で繰り返し取り上げた結果、交通局からも御器所駅の整備の必要性が示されました。さらに平成28年の代表質問では、車いす利用者数など客観的指標に基づく整備方針の見直しを提案。当時の河村市長からも「車いす利用者が多い駅を優先的に整備することは常識的な考え方」との答弁をいただきました。

こうした継続的な取り組みの結果、平成30年5月11日に請願が採択され、御器所駅2番出入口へのエレベーター設置が決定。そして令和8年8月19日、ついにエレベーター設置が実現することとなりました。





市政レポート | 活動のご報告 2023年~2026年

2023年9月定例会 子育て

市立高等学校での昼食提供

市立高等学校での昼食提供について、個人質問を行いました。子育て支援の一環として、名古屋市の中学校で実施されているスクールランチを高校でも提供できないかという提案を行ったところ、教育長より、高校生にとっても栄養バランスの良い食事は重要であり、民間事業者を活用した弁当提供を選択肢の一つとして検討するとの前向きな答弁をいただきました。



実現

2024年6月定例会 市職員ベースアップ

市職員の採用強化

名古屋市職員の採用強化について質問し、人事委員会は適性検査の能力試験導入や経験者採用の拡充を検討すると答弁しました。私は、多様な人材との出会いを広げ、将来の市政を担う人材の確保を要望しました。





中日新聞 2024年6月26日

実現

2025年6月定例会 子育て

公立保育所における おむつのサブスクモデル実施の提案



「公立保育所におけるおむつのサブスク」について、個人質問を行いました。保育園に通う子どもの紙おむつやおしりふきを定額で使い放題にするサブスクリプションサービスについて、市から市立の保育園で令和7年度中の本格導入を目指すとの答弁をいただきました。

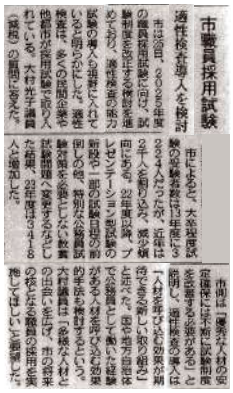
実現

2025年6月定例会 市職員ベースアップ

市職員採用試験での性格検査の導入

「名古屋市職員採用試験への適性検査の導入の検討状況」について個人質問をしました。人事委員会からは、「適性検査のうち能力検査は、導入効果について調査中。従来の試験にとらわれることなく、今後も不断に試験制度を改善していくことが必要であると認識し、採用試験を実施していきたい」との答弁をいただきました。その後令和8年度より導入が決定しました。





中日新聞

2026年2月定例会 子育て

「共育て」の推進に向けた取組み

本市の子育てにおける「共育て」の推進に向けた取組みについて、個人質問を行いました。総務局長からは、パートナーとともに子育てについて考える研修プログラムの実施や、共育て推進に向けた取組の充実を図るとの答弁をいただきました。また、「名古屋市版・父子手帳」の導入について提案したところ、子ども青少年局長からは、既存の父親向けリーフレット「なごやだでぃ」の充実やなごや子育てアプリ「なごみー」の活用を進めながら、内容の充実と周知方法の工夫に取り組むとの答弁をいただきました。

2026年2月定例会 観光

「ドネーションガチャ」による新たな寄附の仕組み

楽しみながら社会貢献ができる民間型「ドネーションガチャ」による新たな寄附の仕組みについて、個人質問を行いました。「ドネーション」とは「寄附」や「贈り物」を意味し、誰かのためにお金や物品、サービスなどを無償で提供する行為を指します。若年層やインバウンド層も参加できる「少額・高頻度型」の寄附モデルとして、寄附とガチャを組み合わせた仕組みを提案しました。財政局長からは税外収入確保の手法の一つとなり得るとの答弁、観光文化交流局長からは観光プロモーションとしての可能性や制度活用の検討について前向きな答弁をいただきました。





減税日本ナゴヤ
名古屋市会議員 昭和区選出
大村光子
大村光子事務所
〒466-0848 名古屋市昭和区長戸町5丁目46番地

市民の皆さまの声を、市政に届けます。
お気軽にご意見・ご相談をお寄せください。

TEL&FAX
052-848-7325
MAIL
ohmuramitsuko0423@gmail.com

公式サイト